

2005年8月22日

アフリカにおける教育支援について

住友化学は、深刻な貧困問題から各国の関心を集めつつあるアフリカのサブサハラ地域において、小学校の建設等、子供たちを対象とした教育支援を始めることといたしました。

当社は、従来より、企業の社会的責任（CSR）の遂行を経営の重要課題のひとつと位置付け、「地域貢献」、「世界貢献」、「未来貢献」を合言葉に社会貢献活動に注力してまいりました。特に、アフリカでは、独自技術により開発した防虫剤を含浸させた蚊帳「オリセット®ネット」を供給すると共に、タンザニアの蚊帳メーカーへ蚊帳の製造技術が無償で供与し、現地で量の産体制を整えるなど、世界保健機構（WHO）などが進めるマalaria防圧のプロジェクトに積極的に参加し支援を行っております。

今回の教育支援は、「オリセット®ネット」事業によって得られる利益の一部を、アフリカの将来に向けた発展や今後の自立に最も有効と思われる子供たちへの教育支援という形で還元しようとするものであります。具体的には、「オリセット®ネット」の製造や防虫剤の原料である天然除虫菊の購入などで当社と関係の深いタンザニアおよびケニアの両国において、発展途上国での教育支援に実績を有するNPO「ワールド・ビジョン・ジャパン」の協力の下に、小学校の校舎および食堂、教員住宅等の付帯施設の建設2件を行います。建設開始は2005年秋、2006年春の開校を目指します。

当社といたしましては、今後とも、世界レベルの社会貢献活動として、事業で得られた利益の一部をこうした形で継続して還元していきたいと考えており、当社だけでなく、アフリカに関心を有する他の企業とも連携し、近くさらに3プロジェクト程度を実施する計画です。

（ご参考）

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

東京都新宿区百人町1-17-8-3F

国連経済社会理事会に公認・登録された国際的な民間援助機関（NGO）である「ワールド・ビジョン」を構成している日本の民間援助機関。「ワールド・ビジョン」は、地域開発や緊急援助などさまざまな活動を進め、世界約100カ国で活動し、約240万人の子どもたちを支援している。（同法人年次報告書から抜粋）

以上